

景一歩遊



▲千田町のオオイチョウ 他の写真はこちら↑↑↑

国道の
ほとりにそびえる
大イチョウ
千田の町の
ランドマーク



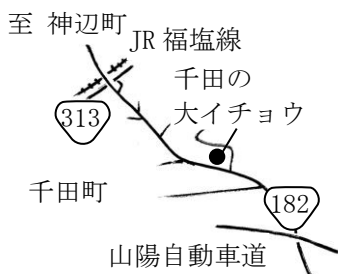
千田町を通る国道182号線を蔵王町方面に走ると、左側に巨大なイチョウの木が見えます。

幹のまわりは3.4m、高さは27mあり2005年2月に福山市保護樹木の指定を受けました。

写真のように、青々とした季節も迫力がありますが、秋が深まると黄に色づいた葉っぱが青空や夕焼け空に映えることから、写真撮影に訪れる人が多くいるそうです。雄木のため、銀杏は実りませんが落ち葉がまるでじゅうたんのよう一面を埋め尽くすそうです。

大イチョウの南側には千塚池があり、寒さが厳しい季節になると、カモなどの渡り鳥が毎年飛来します。

千塚池の南側には、名峰蔵王山があり、遠くの借景で大イチョウがさらに映えます。



桜坂ギャラリー 企画展

オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン なくそう！子どもの虐待

●期間 **11月2日(土)**

~12月1日(日)

●場所 **東部市民センター 2階ロビー**

「高めあう 人権感覚 確かな未来」

東部いれこみ情報

学習情報紙
No.278
11月号

2024年(令和6年)11月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・二次元コード



東部人権問題講演会

佐々木リョウ トーク&ライブ



この世に誕生して
二日目の息子が
手術室に入りました
今日という日は
いつか必ず
良い思い出になる
息子よ
生まれてきてくれて
ありがとう
(佐々木リョウブログより)

かけがえのない
命の詩を叫ぼう

日時 **12月1日(日)** 開場 13:30 開演 14:00

場所 **東部市民センター 1階ホール**

- 手話通訳あります。
- 申し込みが必要です。(入場無料)
- 主催 申し込み 問合せ 東部地域振興課
住所 福山市伊勢丘六丁目6番1号
電話 084-940-2574
FAX 084-947-5658
Mail
toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
- この講座は、人権・社会教育活動事業として実施するものです。

家庭で繰り返し行われる虐待は、子どもに対する重大な人権侵害であり、最悪の場合は命を奪ってしまうこともあります。

たとえ「しつけ」のつもりであっても、体罰は虐待にあたります。

「オレンジリボン運動」や相談窓口について展示します。

主催・問い合わせ先 東部地域振興課
電話 084-940-2574
FAX 084-947-5658



まちづくり大学でフォーラムを開催

10月26日に東部市民センターで東部のまちづくり大学を開催しました。

今年度は、「地域のデジタル活用を考えるフォーラム」をテーマとし、野々浜学区の関係者に出席していただきました。

野々浜学区で、「文化祭のにぎわいをどのように作り出すか」について話し合い、取り組んだ企画の一つとして、スマートホンで楽しむデジタルゲーム作りを紹介していただきました。



各学区でプログラマーの卵が成長

小学校は「スクラッチ」というプログラミングツールを授業に導入しており、野々浜小学校の埜田校長から算数の授業で活用した事例を紹介していただきました。今回のゲームは、このプログラムを活用しました。ゲーム作りに参加した児童生徒のみなさんから「楽しかった」「次の機会があればまた参加したい」「さらにグレードアップしたものを作ってみたい」などの感想があり、プログラマーの卵が各学区に育っていることを実感しました。

野々浜交流館の山廣館長は、「今回のような、三世代が交流できる行事でにぎわいを作りたい」と話しました。町内会連合会の今仁会長は、「子どもが高齢者の話を聞く機会が減った。地域のことをゲームに取り入れることで、地域を知ってもらいたい」と話しました。埜田校長は、「学校は地域に支えられて成り立っている。デジタル技術を活かし地域の役に立つ人材を育成したい」と話しました。

東部市民センターで育てたひまわりの種を収穫 東朋中学校

東朋中学校 TOHO LEADERS の生徒さんが、東部市民センターに植えたひまわりは、夏の猛暑の中、順調に成育し多くの大輪をつけました。そして10月1日に、同校の2年生6名が参加し種の採取を行いました。当日は、気温が30度を超え、10月とは思えないような暑さの中、勉強のこと、クラブ活動のこと、修学旅行のことなど、楽しく話をしながら作業を進めていきました。途中、てんとう虫



やかマキリも出て、普段、自然に触れることが少ないこともあり、昆虫が新鮮に感じられるとのことでした。東日本大震災について話をすると、「学校の授業で習った…」「テレビで少し見たぐらい…」とのことで、時代とともに風化してくるのでは…と懸念したところです。

「福島ひまわり里親プロジェクト」は、来年で12年目を迎え、震災後に生まれた生徒が参加することになります。福島の思いや、この地震で得た教訓を、福島のひまわりを通じて、語り続けていくことが大切だと感じました。

東部管内イベント・講座情報

春日コミュニティ館

① ことばの壁と心の壁をなくそう

「やさしい日本語」を通して考える外国人市民とのコミュニケーション。災害時に必要な情報を伝えることができるように防災に関する内容も題材にします。

② 多文化共生とは～外国人とともに暮らすまちづくり～

外国人ゲストとともに参加型のグループワークを通して外国人市民とのコミュニケーションを図る方法を体験・実践する。

【日時】①11月2日（土）

13時30分～15時30分

②11月21日（土）10時～12時

【会場】春日コミュニティ館

【講師】①犬飼康弘さん

（公益財団法人ひろしま国際センター日本語常勤講師）

②びんご日本語多言語サポートセンター びるどスタッフの皆さん

【定員】①30人 ②20人

【持ち物】なし

【対象】成人一般 30人 【参加費】無料

【持ち物】なし

「韓国料理講座」

調理実習を通して、韓国文化をについて語る。

メニュー チヂミなど

【日時】11月7日（木）毎週木曜日

10時～11時30分

【会場】春日コミュニティ館

【講師】田原福姫さん（韓国家庭料理研究家）

【対象者】どなたでも

【定員】10人程度 【参加費】500円

【申し込み】要申込

【申し込み】春日コミュニティ館 943-2531

御幸交流館

映画『オレンジ・ランプ』上映会

人と人が支え合う大切さを伝え、認知症になっても安心して暮らせる社会へつなげる。

【日時】11月23日（土）14時30分～16時

【会場】御幸小学校 体育館

【対象】どなたでも 【参加費】無料

【申し込み・問い合わせ先】

御幸交流館 084-955-0392

緑丘交流館

「人権コンサート」

～誰もが大切にされるために～

ギター弾き語り（歌と楽器演奏を交えて、体験談や人権に関わるお話をさせていただきます。優しさに満ちた歌声とともに、直筆の水彩画を映像でご覧ください。）

【日時】11月16日（土）10時～11時

【会場】緑丘交流館 大会議室

【講師】オヌキ諒さん

（シンガーソングライター）

【対象者】①緑丘交流館利用グループ・サークル

②どなたでも※

【定員】先着20人（※②の方のみ）

【参加費】無料

【申し込み】要申込（※②の方のみ）

緑丘交流館 943-5495

マットピラティス

～カラダを整えてココロも笑顔に～

身体の筋肉量を調整し、姿勢を改善！身体を動かし、日ごろのストレスを軽減しませんか。

【日時】11月28日（木）10時～11時30分

【会場】緑丘交流館

【講師】藤原雅子さん

（ピラティスインストラクター）

【対象者】どなたでも※（生後4か月～1歳程度）での参加もできます。

【定員】10組程度 【参加費】無料

【持参物】うごきやすい服装、フェイスタオル、飲み物（水分補給）※ヨガマット持ち込みOK

【申し込み】緑丘交流館 943-5495

東部図書館からのお知らせ

展示「東部まちづくり博覧会」

東部地域の交流館が作成した学区の紹介パネル展示

【日時】11月20日（水）～12月16日（月）

【場所】東部図書館 1階 フロア

工作教室「みんなで作ろう！大きなクリスマスツリー」

【日時】11月24日（日）14時～14時45分

【対象】小学生まで（未就園児は保護者同伴）

【申し込み】11月10日（日）10時より受付

【定員】12組（申込必要・先着）

サロンコンサート『大正琴の演奏』

アンサンブル・コスモス

【日時】11月26日（火）14時～14時30分

【場所】東部市民センター 1階 サロン

【申し込み・問い合わせ先】東部図書館 084-940-2575

特集「アンコンシャス・バイアス」について考える その8

正常性バイアス

正常性バイアスとは、特別な状況や危険に直面しても、「これは普通のことだ」と考えて、特別な行動を取らない心理的な傾向です。このバイアスは、災害や事故などの突発的な出来事に対して特に顕著です。例えば、大地震が起きたときに「大したことない」と思って避難しないことがこれに当たります。

また、このバイアスは個人だけでなく、組織

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」や「偏見」という意味で、私たちの社会に存在し、誰かの生き辛さにつながる場合があります。誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、考え合う機会となるよう今年度の記事として特集しています。

や町全体に影響を及ぼすことがあります。災害対策を怠る原因となり、結果として被害が大きくなる場合があります。このような状況を防ぐためには、普段からの準備や訓練が重要です。例えば、定期的に防災訓練を行ったり、リスクについて正確な情報を共有したりすることが有効です。さらに、過去の災害の事例や統計データを基に現実のリスクを認識しやすくすることも大切です。

正常性バイアスを理解し、その影響を減らすことで、個人や社会全体が危機に対してより安全に対応できるようになります。これにより、被害を最小限に抑えることが可能となります。



TouTube・トーチューブ

黄金色の田園でサックスを吹いてみた

東部地域振興課では、生涯学習の成果などを発表する機会の一つとして YouTube のチャンネルを開設しています。

今回は坪生町。黄金色の田園でサックスを吹いていただきました。坪生町は、昔は莊園だったことから、古くから米作りが盛んであり黄金色の田園は地域の原風景です。

配信は11月2日(土)を予定しています。

〈配信〉11月2日(土)9:00～

●動画サイト YouTube

●チャンネル TouTube.F

●問い合わせ先 東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール：↓↓↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



桜のさくらやき

児童虐待によって、幼い命が奪われるという痛ましい事件が後を絶ちません。ニュース映像では生前の子どもの笑顔が映し出される事も多く、夢や希望のあるはずだった未来を思うと、いたたまれなくなります。事件の経過をたどると予兆があったり、相談や情報が寄せられていたケースもあり、何とか未然に防ぐことはできなかったのか？と思われる人も多いのではないのでしょうか。

毎年11月に、こども家庭庁が「オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン」として、広報や啓発活動に取り組んでいます。2023年4月には「こども基本法」ができました。昨年度の福山市の啓発リーフレットでも啓発してきました。しかし法的整備をしても、児童虐待防止は児童相談所や公的機関だけで行えるものではなく、私たち一人ひとりが「子育てにやさしい社会」を作ることが大切です。具体的にはサポーターになる、啓発ツールで普及活動する、子育て中の親子への気軽な声かけなどあるようです。

まずは子どもの虐待について正しく知る、理解することが大切です。多くの虐待事件に慣れてしまい、無関心になってしまう事が怖いのです。今月の東部地域振興課の啓発展示パネルをぜひご覧いただき、自分事として考えてみませんか。



視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます